

▼メインの情報

- ・[初めて参加される方](#) ←初めての方は、こちらを済ませてから勉強会にご参加ください。
- ・次回勉強会の進行表(タイムテーブル)
- ・次回勉強会までの課題と準備 ←申し訳ありません。主催者が実習期間に入るため休部です。
単発で他の勉強会に参加してます。還元していきます。
- ・各回のテーマ (現行:[チュートリアル](#)) (策定中:策定中)
- ・使用する会議室の地図その他
- ・[主催者の連絡先](#)

▼自習用リンク

- ・[Web教材@paiza](#) 初参加までの自習内容。
- ・[スキルチェック@paiza](#) ミニ課題集。応用力が確実に付きます。※進め方の[解説動画](#)
- ・[checkio](#) **New !** レベルが上がってきたら、こちらの課題で腕を磨いて下さい。
- ・[e-typing](#) ブラインドタッチの練習。ぼちぼちの習得をお勧めします。

▼その他の情報

- ・[リンク一覧](#)
- ・[コーディング・ルールの抜粋](#)
- ・ミニ解説動画 ([YouTube](#)) ご質問があった場合に、作成追加していきます。
- ・[参考書籍](#)

全然関係ないですが、

簿記、税理士、会計士試験に関心ある方は、
お声掛け下されば、当該勉強会(サークル)をご案内致します。
プログラミング勉強会開催日の午後に行っています。(13:00 - 16:30)
費用は500円ですが、午前のプログラミングに出られた方は無料です。
ミニ講義・自習時間の構成です。運営同じ。

[△トップへ戻る](#)

#00【[connpass内当勉強会のページ](#)】 ←各回の参加申込もコチラ。**申込は毎回必須です。**

#01【[緊急用ツール @ paiza.io](#)】 ←Web上で動く簡易統合開発環境。一部機能のみ。

#02【[Pythonチュートリアル](#)】 ←基本的な教科書。Web版リンク。

#50【[pandasのplotの全引数解説](#)】

#80【[ミニ自習課題提出フォーム](#)】

#81【[知識の確認・提出フォーム](#)】 ←Web教材範囲のミニテスト。指示時のみ使用します。

[△トップへ戻る](#)

[△トップへ戻る](#)

- ※ **次回勉強会とは、2017.09.17 を指しています。**
- ※ 人数により、直前で部屋、建屋が変わる場合があります。
- ※ 文化会館とグリーンホールは、互いに徒歩5分の距離です。

次回勉強会は、下記の場所で行います。

板橋区立文化会館3階 第3会議室 (部屋番号は都度変わります)

東京都板橋区大山町51-1

【[Google マップ](#)】【[目印付き模式地図](#)】【[館内図](#)】

板橋区立グリーンホール5階 (部屋番号は都度変わります)

東京都板橋区栄町36-1

【[Google マップ](#)】【[目印付き模式地図](#)】【[館内図](#)】

[△トップへ戻る](#)

[△トップへ戻る](#)

使用教材 テーマとして扱います。個別で購入される必要はありません。

	書籍名	当時の価格	備考
#00	自習用無料Web教材(3分動画) paizaラーニング	無料	第1回で1編と一緒に進めます。 かつ初参加の事前自習課題として。
#01	Pythonチュートリアル 第3版 【 Amazon 】【 無料Web版 】	1,944 (中古 1,598)	第1～5回勉強会で扱う。シンプルにまとまっている。Web版は直訳風で正直かなり読み辛いが無料。
#02	ゼロからはじめるデータサイエンス—Pythonで学ぶ基本と実践	3,546 (中古 1,707)	一部、参考資料。『短時間でデータサイエンスの基本知識とPythonプログラミングのスキルを効率良く学ぶことができます。』むしろ#03中心の予定。
#03	Pythonによるデータ分析入門 NumPy、pandasを使ったデータ処理	3,888 (中古 2,450)	Pythonエンジニア認定データ解析 試験の出題元であった。現在策定中。 『代表的なデータ解析用ツール、pandasのメイン開発者による、Pythonでデータサイエンスを始めるための情報をまとめた、優れたガイドブックです。』

検討中の書籍

書籍名	価格	備考
Pythonクローリング&スクレイピング-データ収集・解析のための実践開発ガイド	3,456	「クローリング・スクレイピングの入門から実践。基本的なクローリングやAPIを活用したデータ収集、HTMLやXMLの解析から、データ取得後の分析や機械学習前の処理まで解説。データの収集・解析、活用がしっかりと基本から学べる。Webサービスの開発やデータサイエンスや機械学習分野で実用したい人はもちろん、基礎から解説しているのでPython初心者でもつまずかずに学習できる。多数のライブラリ、強力なフレームワークを活用して高効率に開発できる。」

[△トップへ戻る](#)

[△トップへ戻る](#)

※ 次回勉強会とは、2017.09.17 を指しています。

【ご連絡】

・この回は**スクリーンが予約できなかった為、壁に投影**です。ご不便おかけします。

・Skype参加は設備が脆弱で接続が断線し、ご迷惑をお掛けしてしまいます。今後は行わないことに致しました。その代わり使用スライドに解説を加えたものを**配布**致します。ご質問は歓迎です。低予算のため、温かく見守って下さいませ。

・掲示欄にあるレジュメ(前日前々日に掲示予定 **※掲示しました**)は事前にダウンロードしておいて下さい。ダウンロードを忘れた方は、当日USBメモリでお渡しします。

必ずダウンロードしてご来場下さい: [グループワーク用使用コード](#)

こちらは必要な方のみ: [用語確認レジュメ#004](#) , [前回の用語確認レジュメ#003](#)

【課題】

※単に各項目をググって誰かの解説サイトを一読するでも可。できればコードを打ちながら、動作を確認して下さい。難しい所があれば、連絡先まで送って頂ければ勉強会で深めます、むしろ有難いです。

勉強会で扱う範囲	自習で進める範囲
<ul style="list-style-type: none"> 関数の定義 (4.6 ~ 4.7.2) lambda (4.7.5) クラス初見 (9.3~9.4) 例外処理は10月の回で扱います。 New ! 	<ul style="list-style-type: none"> スキルチェック (D or C) (使い方) リストの補足は必ず一読を。(5.1) リスト内包は必ず復習を。(5.1.3) 集合 (5.4) 入出力 (7) break / continue / else (4.4)

【復習】

第3回	<ul style="list-style-type: none"> リストの補足 (5.1) リスト内包 (5.1.3) ディクショナリ (5.5) コーディング・ルール (4.8) 	(レジュメ) (スライド)
-----	--	---

[△トップへ戻る](#)

[△トップへ戻る](#)

主催者の連絡先

【email】chaya@hotmail.com

【電話】(当日のみ掲載致します) ※ 立て込む為、**SMSでどうぞ**。返信なくとも確認しています。

【LINE】[QRコード](#)をご利用ください。

【投書箱】[Google フォーム](#)。内容は問いません。匿名でも送れます。

【skype】” the Hutt chaya “。被り物をした不細工な猫のアイコンです。普段はログインしていません。

※ 急ぎの返信を希望される方は、電話番号からSMSをご利用ください。

※ メールは初回迷惑フォルダへ振られるため、最大1日間は確認が遅れます。

※ スカイプは会議室の電波状態が悪く、勉強会では使い物にならないため、勉強会開催中以外にフォローするためにだけ使用します。

[△トップへ戻る](#)

[△トップへ戻る](#)

※ 次回勉強会とは、2017.09.17 を指しています。

※ 随時、修正あり。

<<< 現在、作成中 >>>

▼必要物品

- ・ノートパソコン、電源ケーブル、筆記用具 (任意)、会費 (connpass 内に掲示)
- ・寒がりの方は上着・膝掛け(夏でも空調に弱い方)
- ・**グループワーク用使用コード**([課題と準備欄に記載](#))

※ [課題と予習](#)を確認しておいて下さい。

目安時間	内容	備考
(09:30-10:00)	(希望者のみインストール作業)	Anaconda , PyCharmのインストールと設定が分からない方は09:30に会場頂ければお手伝いします。
10:00 -10:05	開会 ・イントロダクション	勉強会概要、前回からの出来事など。
10:05-10:10	Pythonic を少しだけ	毎回1つPython 独自文法を取り上げます。
10:10-10:30	アルゴリズム体操	(説明5分、実習10分、質疑応答5分)
10:30-10:35	前回の補足	
10:35-10:50	論点の学習	チュートリアルから、ピックアップ。
10:50-10:55	コーディングルール(PEP8)	ピックアップしてお伝えします。
10:55-11:50	ミニグループワーク	説明5分、実習40分、解説10分
11:50-12:00	質疑応答・連絡	
12:00	後片付け・退館	この日は追い立てられない日です(笑)

12:00-12:30 はフリーなので、5分ほどプロジェクターの片づけをしたら、後は希望者で雑談、質問タイムにあてます。

しかし、論点のクラス初見が重かった場合、ずれ込む可能性があります。

<<< 現在、作成中 >>>

[△トップへ戻る](#)

コーディングルールの抜粋(Pythonチュートリアル4.8転載)

Python には、ほとんどのプロジェクトが守っているスタイルガイドとして [PEP 8](#) があります。それは **非常に読み易く目に優しいコーディングスタイル**を推奨しています。全ての Python 開発者はある時点でそれを読むべきです。ここに最も重要な点を抜き出しておきます:

インデントには空白 4 つを使い、タブは使わないこと。タブとスペースの混在は混乱の元。
PyCharmで書くと、タブを使っても空白4つが入力されます。

ソースコードの幅が 79 文字を超えないように行を折り返すこと。
こうすることで小さいディスプレイを使っているユーザも読み易くなり、大きなディスプレイではソースコードファイルを並べることもできるようになります。

関数やクラスや関数内の **大きめのコードブロックの区切りに空白行を使う**こと。

可能なら、**コメントはそれ自体の行に書く**こと。

[docstring \(ドキュメンテーション文字列\)](#)を使うこと。例: 関数定義、クラス定義など。

演算子の前後とコンマの後には空白を入れ、**括弧類のすぐ内側には空白を入れない**こと

例 `a_ = f(1, 2) + g(3, 4)`

クラスや関数に一貫性のある名前を付けること。慣習ではCamelCase(単語の頭文字を大文字にしてつなぐ)をクラス名に使い、lower_case_with_underscores(小文字の単語動詞をアンダースコアでつなぐ)を関数名やメソッド名に使います。**メソッドの第 1 引数の名前としては常に self を使う**。(クラスやメソッドについては [クラス初見](#) を参照)。

あなたのコードを世界中で使ってもらうつもりなら、風変りなエンコーディングは使わないこと。どんな場合でも、Python のデフォルト **UTF-8 またはプレーン ASCII** が最も上手いきます。
同様に、ほんの少しでも他の言語を話す人がコードを読んだりメンテナンスする可能性があるのであれば、非 ASCII 文字も識別子に使うべきではありません。

▼ぜひ、こちらもご参照ください。記載例もありとても読みやすくまとまっています。

[\[Python\] コーディング規約\(PEP8\)を学んで、Pythonらしいコードを書く @ YoheiM.NET](#)

- ※ コーディング・ルールに関して、主催者自身がこれ以上は掘り下げないため、
- ※ ご自身で学ばれた事がありましたら、[主催者までご連絡](#)を頂ければ勉強会でフィードバック致します。

※ 初めて参加される方は、下記の課題と準備を済ませることが参加条件です。

【課題】

無料の[Web 教材](#)を終わらせてからご参加ください。1本が3分程度なので、意外と早く終わると思います。全4編。**難しい箇所は読み飛ばして頂いても問題ありません。**ご質問は[連絡先](#)までどうぞ、別途解説致します。ご質問の際は可能であればパソコンの画面も添付して頂くと、把握しやすいです。

課題が終わりましたら、任意で確認テストを受けることができます。

ご希望の方は[連絡先](#)まで「初回知識の確認の請求」と記載して、ご請求下さい。

採点・コメントを加えてご返却致します。

範囲は前段記載のWeb教材全4編より10問未満です。

【準備】数日前までなら[ご連絡](#)頂ければ、レクチャー致します。

次回勉強会のご来場前に下記のインストールと設定を済ませて下さい。無料です。

知識のおありになる方は、別環境でも構いません。

(分からない方は30分前にご来場下されば、お手伝い致します)

① Anaconda (Python本体と拡張機能のパック) [【設定を含む手順書\(外部\)】](#)

② PyCharm (開発者向けの統合開発環境) [【設定を含む手順書\(外部\)】](#)

※ Pythonのバージョンは、3を使用します。

**時間までにインストールされていない方は、
当日の勉強会は見ただけになるかも知れません。**

【ありがちな失敗】

Anaconda ダウンロード

↓

Anaconda インストール **※ダウンロードして安心し、ここをやらずに次に進むミス**

↓

PyCharm ダウンロード

↓

PyCharm インストール

【チュートリアル】各回のスライドは、開催日～翌日には掲載します。

	勉強会テーマ	該当回までに自習で進める範囲
第1回 スライド レジュメ	※ スライド再編成予定 ・Web教材 - 1編 一緒に進めるので、予習は不要です。	なし。一緒に進めるので、予習は不要です。
第2回 スライド レジュメ	※ スライド再編成予定 ※ 大東文化のif/for課題入れる。 ・インデックス (3.1.2) ・リスト (3.1.3) ・if / for / range (4.1～4.3) ・スキルチェックの進め方	※ 再編成予定 ・Web教材 - 全4編 ・任意ミニテスト (検索可。Web提出) 知識の確認 #001 (Web教材全4編より)
第3回 スライド レジュメ	・リストの補足 (5.1) ・リスト内包 (5.1.3) ・ディクショナリ (5.5) ・コーディング・ルール (4.8)	・スキルチェックD (第2回で説明) ・break / continue / else (4.4)
第4回 スライド レジュメ	・関数の定義 (4.6 ～ 4.7.2) ・lambda (4.7.5) ・クラス (9.3～9.4)	・スキルチェックC ・リストの補足。機能の確認だけで可。 (5.1) ・リスト内包は要復習。 (5.1.3) ・集合 (5.4) ・任意ミニテスト。 (検索可。Web提出) 知識の確認 #004 (リスト内包、リスト)
第5回 スライド レジュメ	・クラス続き (9.3) ← 検討中 ・スコープ (9.2 ～ 9.2.1) ・例外処理 (8) << Python チュートリアル終了 >> ・標準ライブラリミニツアー tkinter (GUI機能)	・スキルチェックC ・クラス継承など (9.4 以降) ・内包の入れ子 (5.1.4) ・import tkinter ・tkinterのHelloWorldコード (25.1.2.2)
第6回 スライド レジュメ	・データの取得 (DS : 9) テキストファイル、csvファイル ・データ分析の例 (2.1 - 2.1.2) pandas。シンプルな集計とグラフ。 << データ分析入門の概要終了 >> 次のステップであるシリーズは、現在検討中です。connpass上で告知致します。	・import numpy (配列、行列高速演算) import pandas (データフレーム) import json (JSON形式の文書取扱) import matplotlib (グラフ描画) import csv (CSV形式の文書取扱) を実行できるか要確認。 ・ファイルの読み書き (7.2～7.2.1) ・csv ライブラリ (14.1) から下記の項目。 csv ファイルの説明。 csv.reader() , csv.DictReader() ・スキルチェックC ・変更の予定あり。

[△トップへ戻る](#)

<< 現在、着手するか検討中。主催者用の下書きです。 >> ToDo

【データ分析入門】※ 未着手

括弧内は、章番号。詳細はコメント欄にて。

	勉強会テーマ	該当回までに自習で進める範囲
第1回 スライド レジュメ		<ul style="list-style-type: none">・<code>import numpy</code> <code>import pandas</code> <code>import json</code> <code>import matplotlib</code> <code>import csv</code> を実行できるか要確認。・ファイルの読み書き (7.2~7.2.1)・csv ライブラリ (14.1) から下記の項目。 csv ファイルの説明。 <code>csv.reader()</code> , <code>csv.DictReader()</code>・スキルチェックC
第2回 スライド レジュメ		
第3回 スライド レジュメ		
第4回 スライド レジュメ		
第5回 スライド レジュメ		
第6回 スライド レジュメ		

[△トップへ戻る](#)